

道の駅「第九の里」と徳島大学(総合科学部 矢部准教授)の学生が連携して、ふるさと納税の呼びかけPRの企画・実施を道の駅において行います。

①従来からふるさと納税で連携

- ・昨年度はふるさと納税のパンフレットを制作
- ・フィールドワークを実施し、地域活性化の案などを検討

反映

②ふるさと納税PRイベントの企画・提案

- ・マスキングテープアートイベントを企画提案し、大学生が作成しつつ、道の駅に立ち寄るお客さんも作成参加

反映

発展

③ふるさと納税 記念品道の駅セットの開発

- ・地域物産を調査し、地域資源を活かしたふるさと納税記念品となるセットを考案

【ふるさと納税のパンフレットを作成】

これまでのふるさと納税での徳島大学と鳴門市の連携の実績を活かして、ふるさと納税のPRや第九の里への誘客に反映します。



昨年度徳島大学生が制作した鳴門市ふるさと納税のPRパンフレット。

【マスキングアートイベントの実施】

徳島大学では、比較的近くのフィールドで従来からの連携により得られたノウハウを活用した企画・提案を行い、学生の自主的活動を通じて、地域理解も深めていきます。

マスキングアートの取り組み



【道の駅「第九の里」について】

道の駅「第九の里」には、物産館・鳴門市ドイツ館・賀川豊彦記念館の3施設があり、物産館はドイツ俘虜兵舎の一部を移築し、登録有形文化財となっています。

登録有形文化財の物産館



徳島大学(所在地:徳島県徳島市)は、5学部17学科、3研究部・7教育部を擁した総合大学であり、大学の使命である「社会貢献」のため地域の様々な主体と連携を推進し、地域の課題解決に積極的に取り組んでいます。
平成27年3月には、全国「道の駅」連絡会と全国各地の「道の駅」を舞台に学生の就労体験型実習(インターンシップ)を行うことで合意し、基本協定を締結しました。
同協定の締結は四国では初となります。

平成27年度 取組み内容①：ふるさと納税PRイベントの企画・提案

取組み前の調査

- マスキングアートイベント（貼りつけ）の様子



- マスキングテープアート作成までのスケジュール

平成27年4月24日

徳島大学大学生が道の駅第九の里にフィールドワーク。地域活性化の案などを検討。

平成27年7月

(株)レオパレスより大学と道の駅の活性化に参画したいと相談。

平成27年8月7日

徳島大学で大学生、(株)レオパレス、鳴門市でミーティング。

平成27年8月19日～23日

道の駅第九の里でマスキングテープアートイベントの実施

(株)レオパレス21の支援を得ながら、徳島大学生によるマスキングテープアート作成や来客へのアート作成の参加呼びかけ、道の駅「第九の里」へのさらなる誘客を図りました。

8月19日～23日の間に、大学生が1～5名参加し、マスキングテープアートの作成や、場者への作成参加補助、着ぐるみを着てのPRなどを実施し、イベントを盛り上げました。

- 完成したマスキングアート



平成27年度 取組み内容②：地域資源を活かしたオリジナル商品の企画・開発

取組み前の調査

- ふるさと納税記念品「道の駅」セットの品目を選定した物産館の様子



- ふるさと納税記念品「道の駅」セットの考案まで

マスキングテープアートのイベントを契機に
大学生のふるさと納税に関心が高まる



受取り手の立場にたったふるさと納税記念品
セットの考案に意欲



地域の特産品等の調査を実施



ふるさと納税記念品「道の駅」セットの考案



ふるさと納税記念品として9月から実現

大学生が道の駅の物産品を調査し、ふるさと納税記念品セットを考案しました。

＜セット1＞
道の駅で販売している品目である「なると金時」「塩蔵わかめ」に、季節の産品、加工品を詰め合わせた道の駅第九の里特産品セット

●特産品セット



＜セット2＞
道の駅第九の里オリジナルじゅえらーとセット

●オリジナルじゅえらーとセット

